

小学校第5学年 外国語活動 学習指導案

期 日 平成24年10月29日(月)第5校時

場 所 八代市立八代小学校 5年2組教室

指導者 教諭 浦田 尚美

1 単元名

「Lesson 9 What would you like? ランチメニューを作ろう」(Hi, friends! 1 文部科学省)

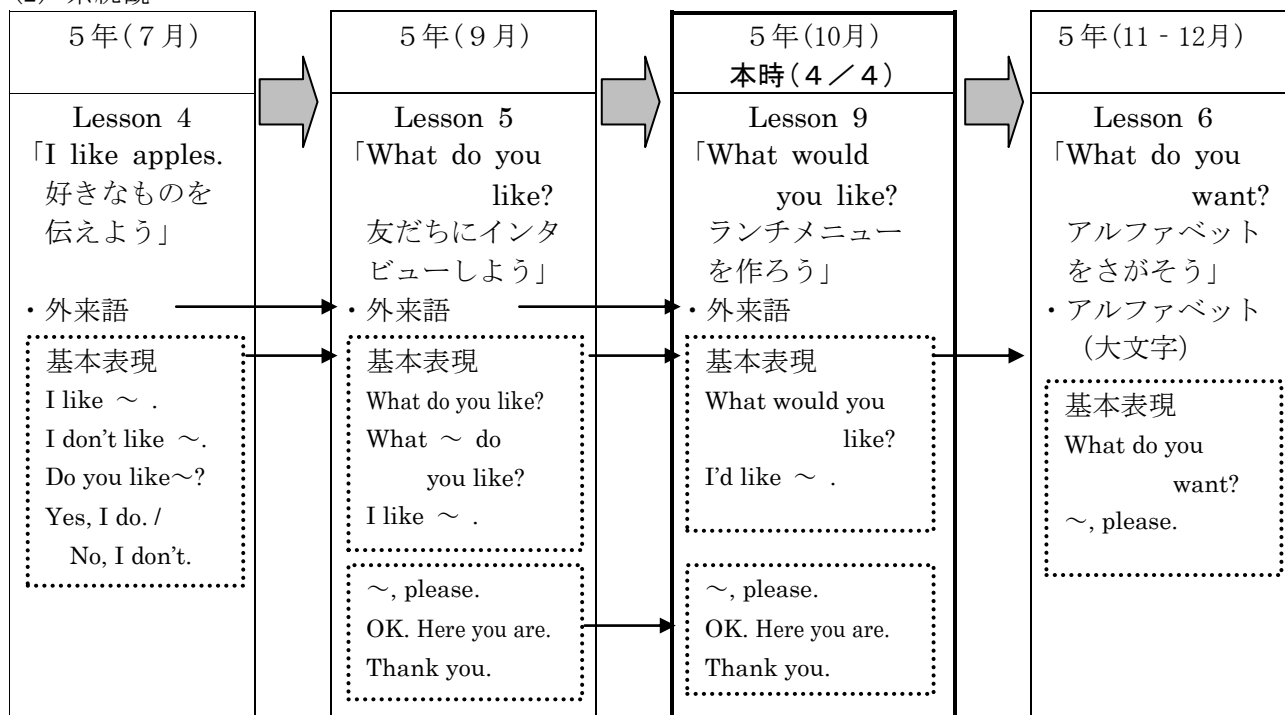
2 単元について

(1) 単元観

本単元は、世界の料理に興味を持つとともに欲しいものについての丁寧な表現を知り、ランチメニューを作るためにそれらの表現を使いながら欲しいものを尋ねたり答えたりすることをねらいとしている。レストランなどにおける食事や欲しいものをやりとりする場面は、児童の日常生活においても身近なものであり、相手とかかわり合う活動の設定に適した題材であると言える。

また、本単元では児童自身がそれぞれメニューを考え、そのメニューの中から友達と欲しいものを楽しく伝え合いながら、自分の目的に合ったランチメニューを完成させる活動を行う。ここでは、活動の目的を持たせることで、児童自らが思考・判断・表現しようとする姿が見られると考える。さらに、与えられたメニューではなく、地域の特産品を使ったメニューを自分で考えることにより、ランチメニューを完成させていく際も目的を意識しながら主体的に考え、友達と意欲的にコミュニケーションを図ることができるものと思われる。これらの点から、本単元は、丁寧な表現に慣れ親しみ、それらを使った気持ちのよいコミュニケーションを体験しながら、自分の思いや考えを伝え合うことの喜びを感じさせることができる内容であると言える。

(2) 系統観



(3) 児童観

○本学級の児童数は37人で、全体的に学習に対して意欲的であり、何事にも一生懸命に取り組む。

○ペアやグループでの話し合いや教え合いもよく行い、積極的に発表する児童が多いが、自分の考えや意見になかなか自信が持てない児童も数人見られる。

(児童アンケート結果より：一部抜粋 平成 24 年 10 月実施 37 人対象)

	質 問	結 果 (数字は人数)
①	外国語活動の授業は好きですか。	とても好き(23) 好き(14)
②	英語で、相手の好きなものをたずねたり答えたりする活動は好きですか。	とても好き(19) 好き(18)
③	相手の言いたいことがよく分からないときや自分の言いたいことがうまく伝えられないとき、あなたは どうしますか。	何とか話を続ける(34)) あきらめる(3) その他(0)
④	自分から進んで話をしたり、質問をしたりすることは好きですか。また、それはなぜですか。	とても好き(14) 好き(20) あまり好きではない(3)
⑤	英語で相手に説明することは好きですか。また、それはなぜですか。(ビンゴやクイズのヒント、自分の持っているものなどについて)	とても好き(14) 好き(19) あまり好きではない(4)

○すべての児童が外国語活動を好きであると回答した。

○Lesson 4 及び Lesson 5 で学習した内容である「英語で相手の好きなものをたずねたり答えたりする活動」については、すべての児童が好きであると回答した。その理由として、「相手のことをよく知ることができるから」「相手の意外なところを知ることができて楽しいから」「お互いに尋ねたり答えたりすると楽しいから」「相手の好きなものが外国語で分かるから」「英語で言えるとすごくうれしいから」などが挙げられている。

○「相手の言いたいことがよく分からなかったり、自分の言いたいことがうまく伝えられなかったりするときどうするか」という質問については、何とか話を続けると回答した児童が 34 人、あきらめると回答した児童が 3 人だった。何とか話を続けると回答した児童は、その方法として「ジェスチャーをする(表情で伝える)」「絵を描く」「言いたいことと似たものを言う」「そのことを連想する言葉を使う」などを挙げている。話を続ける理由として、「どうしても相手に伝えたいと思うから」「もっとコミュニケーションをとりたいたから」「途中で話をやめたくないから」「相手に自分の言いたいことを分かってほしいから」などの内容を述べている。あきらめると回答した児童の理由を見てみると、「何回言っても分からないから」「伝えようとしても、ただ時間ばかり過ぎてしまうから」となっているが、「もっと外国語を知って、使うことができたなら話を続けようと思う」ということを付け加えた児童もいた。

○9 割の児童が、「自分から進んで話をしたり質問をしたりすること」や「英語で相手に説明すること」を好きであると回答した。好きな理由は、「自分のことをもっと相手に知ってほしいから」「友達のことをもっと知りたいから」「人に伝えられると楽しい」「説明して分かってもらえるとうれしい」というもので、あまり好きではない理由としては、「はずかしいから」「自信がないから」「どうやって説明していいか分からないから」「まだあまり英語を知らないから」などを挙げている。

○言葉や文を練習するよりも、友達とコミュニケーションをしながら何かを作り上げることをやってみたいと思っている児童が多い。

(4) 指導観

○新しい単語や表現は、活動を工夫しながら十分に聞かせ、言わせるようにする。

○児童自らが思考・判断するような活動を取り入れながら、表現に慣れ親しませていく。

○外国の文化により興味が持てるように、インターネットを活用して世界の料理や給食などを紹介する。

○ペアやグループなど、友達とかかわり合いながらコミュニケーションを図る活動を多く取り入れる。

○英語やジェスチャーなどを使いながら、自分の言いたいことをどうにかして伝える活動を積み重ねる。

○活動を通して、伝え合う喜びを味わうことができるようにする。

○コミュニケーション活動においてはその目的を意識させ、自分で考えたり選んだりする活動になるよう工夫する。

○社会科で学習した地域と農業、食育、地産地消等との関連を意識した活動内容とする。また、児童が作ったメニューについては、今後の家庭科の学習においても活用できるようにする。

○グローバル・コミュニケーション力を育成する視点から、相手にはっきりと説明したり伝えたりすることの必要性を意識させ、指導を行う。

Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の観点から	
コミュニケーションは、常に自分と他者の関係性の中で進行していく。その際、場面や状況、相手の意向を的確に判断しながら新出や既習の表現を適切に使用していくことが求められる。このことから、本領域において思考力、判断力、表現力等を育成するためには、様々な条件や事柄と関連付けたコミュニケーション活動が必要である。 そのために本単元では、新しい単語や表現に慣れ親しんだりその表現を使ってコミュニケーション活動を行ったりする際には、単に繰り返して聞いたり言ったりする活動だけではなく、児童自らが目的を持ち、思考・判断(決定)してそれを表現する活動を多く取り入れる。また、このことで、自分の意思に基づいて積極的にコミュニケーションを図ることを促す。 具体的には、社会科や食育等との関連を図りながらメニュー作成に取り組む中で、説明する活動や欲しいものについて丁寧に尋ね合うコミュニケーション活動を行い、状況に応じた思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。	

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	世界の料理に興味を持ち、その言い方に慣れるとともに、欲しいものについて丁寧に尋ねたり答えたりしようとする。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	欲しいものを相手に丁寧に尋ねたり伝えたりしながら、積極的に気持ちのよいコミュニケーションを図っている。
外国語への慣れ親しみ	メニューなど、欲しいものについて丁寧に尋ねたり言ったりしている。
言語や文化に関する気付き	①世界には様々な料理があることに気付いている。 ②欲しいものを尋ねたり言ったりするための丁寧な表現があることに気付いている。

4 指導・評価の計画(4時間取扱い 本時4/4)

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※プロジェクトの観点から	評価基準(基準B) (評価方法)
1	○世界の様々な料理の英語での言い方を知り、慣れ親しむ。	・様々な料理の写真を使い、英語でどのように言うか、考えさせながら紹介する。 ・カタカナと英語の発音の違いに児童自らが気付くように、ALTの発音を聞かせる。 ※様々な料理の写真を使い、考えさせながら料理を表す語を導入する。	外国語への慣れ親しみ (行動観察・振り返りカード点検) 様々な料理を表す英語を聞いたり言ったりしている。 言語や文化に関する気付き① (行動観察・振り返りカード分析) 様々な料理に興味を持ち、英語と日本語ではその言い方が違うことに気付いている。
2	○欲しいものについて丁寧に尋ねたり伝えたりするための言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。	・基本表現に十分慣れ親しむことができるように、いろいろな活動の中でその表現を使うようにさせる。 ※児童が自分で考えて判断しながらヒントを決めたり出したりする活動を取り入れ、表現に慣れ親しませる。	外国語への慣れ親しみ (行動観察・振り返りカード点検) 丁寧な表現を使って、欲しいものを尋ねたり言ったりしている。 言語や文化に関する気付き② (行動観察・振り返りカード分析) 欲しいものを尋ねたり言ったりするための丁寧な表現があることに気付いている。

3	○丁寧な言い方でのやりとりを心がけながら、ペアで、“おすすめランチメニュー”を作る。	・欲しいものについて伝え合うことができるように、ウォームアップでは活動を変えながら必要な表現の復習をする。 ※自分で考えたテーマに沿ったメニューになるように、欲しいものについて思考・判断しながら互いに伝え合うことができる活動にする。その後、出来上がった相手のメニューのテーマが何かを推測する活動を入れる。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (行動観察・振り返りカード点検) 丁寧な表現を使って欲しいものについて友達と伝え合いながら、“おすすめランチメニュー”を作ろうとしている。
4 (本時)	○地域の特産品を取り入れたメニューを考え、欲しいものを尋ねたり伝えたりしながら、“八代おもてなし給食”を作る。	・“八代おもてなし給食”に対する興味・関心をより高めるために、地域の特産品を入れたメニューを考えさせる。 ・考えたメニューのアピールポイントを伝えさせる。 ※“八代おもてなし給食”を作る際の視点を示し、欲しいものについて思考・判断しながら、丁寧な表現で積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (行動観察・振り返りカード点検) “八代おもてなし給食”を作るために、欲しいものについて、丁寧な表現を使って進んで友達とやりとりをしようとしている。

5 本時の学習

(1) 目標

欲しいものを丁寧な表現で伝え合いながら、“八代おもてなし給食”を作る。

(2) 評価基準 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (行動観察・振り返りカード点検)

(基準B) “八代おもてなし給食”を作るために、欲しいものについて、丁寧な表現を使って進んで友達とやりとりをしようとしている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Aプロジェクトの視点	備考
導入 15分	1 あいさつをする。 【一斉】	○Good morning, everyone. How are you? ○Let's chant.	○外国語活動の雰囲気作りをする。	
	2 メニューや基本表現を使いながらチャンツをする。 【一斉】	○What would you like? I'd like ~ .	○リズムに乗って、メニューの言い方や基本表現に慣れさせていく。	絵カード (メニュー)
	3 ウォームアップ (1) ビンゴゲーム 【グループ】	○What would you like? I'd like ~ . を使って、ビンゴゲームをしましょう。	○活動を変えながら、基本表現に慣れ親しませるようにする。	ミニ絵カード (メニュー)
	(2) ダイアログ・リレー 【ペア】	○丁寧な言い方で、欲しいものを尋ねたり伝えたりしましょう。	○自分で考えて、自分の言いたいものを言う活動とする。	ボード 絵カード
展開 25分	4 本時の目標を確認する。 【一斉】		○ゲームの中で、What would you like? I'd like ~ . という表現を使いながら二人でのやりとりに慣れさせていく。	
	作ってあげたい人のことを考えて欲しいメニューを伝え、 “八代おもてなし給食”を作ろう			
	5 “八代おもてなし給食”を作る。 (1) 自分たちで考えたメニューをそれぞれ紹介する。 【個人／一斉】	○自分で考えたメニューをアピールしましょう。 店員：Hello. What would you like? 客：I'd like ~ . 店員：Here you are. 客：Thank you.	○自分で考えたメニューのアピールポイントを相手に分かるように伝えさせる。 ○紹介が難しい場合は支援する。	オリジナル メニュー カード
	(2) デモンストレーションを見て活動のやり方を理解する。 【一斉】		※“八代おもてなし給食”を作る際の視点を示し、欲しいものについて、思考・判断しながら、丁寧な表現で積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。	トレー
	(3) <主食><おかず><デザート>の3ブースに行って、欲しいメニューをそろえ、セットにする。 【一斉／ペア】	○作ってあげたい人のことを考えて、メニューを選びましょう。 ○丁寧な言い方で、欲しいメニューを尋ねたり伝えたりしましょう。	評価：コミュニケーションへの関心・意欲・態度(行動観察・振り返りカード点検) “八代おもてなし給食”を作るために、欲しいものについて、丁寧な表現を使って進んで友達とやりとりをしようとしている。	
	(4) 客と店員の役割を交替する。 【一斉／ペア】			
	(5) 誰のために作った“おもてなし給食”か、班で発表し合う。 【グループ】	○誰のために作った給食か発表し合いましょう。	○誰のことを考えて作ったものかについて、考えを交流する場とする。	
整理 5分	6 活動を振り返り、カードに記入する。 【個人→一斉】	○今日の活動を振り返りましょう。	○本時の学習と自分自身を振り返らせ、次の学習への意欲を高めるとともに、互いのよさに気付かせ、認め合う場とする。	振り返り カード
	7 あいさつをする。 【一斉】	○That's all for today. See you next time.		